



弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>


弓削高自慢のハーモニー、高文祭で披露！

1、2年生全員で高文祭合唱部門へ参加！

11月14日から17日に丹原文化会館、愛媛県美術館、内子座で第33回愛媛県高等学校総合文化祭が行われました。今年度も合唱、吹奏楽、弁論部門の3部門に出場、美術・工芸、書道、写真部門の3部門に出品しました。合唱部門では1、2年生の全生徒で出場し、『ぜんぶ』を歌い、絆を深めることができました。「本番でベストを尽くせて、最高の出来だった。他校はミュージカルのような合唱もあり、今までにイメージが無く驚いた。良い経験となり楽しかった。」と2年生の西倉さんが話してくれました。



インターンシップ 2年生仕事を学ぶ！



11月13日、14日にかけて2年生がインターンシップに行ってきました。今年度は13

事業所にご協力していただきました。後日振り返りをして、学んだことを整理することができました。ご協力いただきました事業所の皆さま、本当にありがとうございました。今回の経験を、今後の進路選択に生かしていきます。

ホームページリニューアル！

毎日更新しています！

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

バドミントン部県ベスト16！

11月9日にゆとり公園体育館でバドミントン県新人大会が行われ、団体戦で男子がベスト16へ進出しました。「サービスまわりの練習の成果が発揮できた良い試合だった。課題も見つかったので、次の大会に向けて克服し、今回以上の結果を目指したい。」と越智功真監督が話してくれました。



令和2年4月からの
下宿先募集！

連絡先 ☎77-2021
弓削高校 教頭 大塚



弓削商船高等専門学校

<http://www.yuge.ac.jp/>


高専ロボコン・ロボコンで見事実力を発揮！

第30回プログラミングコンテストで特別賞と敢闘賞を受賞

10月13日(日)～14日(月)、都市圏総合文化ホールにおいて『第30回プログラミングコンテスト』が開催され、本校のマイコン部13名が出場しました。

この大会は、全国の高専生が日頃の学習成果を活かし、情報通信技術におけるアイデアと実現力を競うコンテストです。

課題部門では「情報通信技術(ICT)を活用した地域活性化」が課題で、紛失物検知アプリ「search-a-BLE」(サーバーを使わない無線通信技術を使い、プライバシーを守りながら他ユーザーと連携して落とし物を探す

アプリ)が、競技部門では得点が高かったタイタを取り合う陣取りゲームが行われ「com-PASS」という作品が、それぞれアイデアと実現力が認められ特別賞を受賞しました。また、自由部門では映像教材を気軽に制作できる「Re:Take」という作品が敢闘賞を受賞しました。

特別賞を受賞した2チームは来年3月にベトナムで開催される国際大会へ出場します。

高専ロボコン2019四国地区大会でデザイン賞と特別賞を受賞

11月3日(日)、阿南工業高等専門学校において、高専ロボコン2019四国地区大会が開催され15年ぶりの勝利を収めまし

た。

今大会のテーマは「らん♪ RUN Laundry」で、Tシャツ・バスタオル・シーツをフィールドに設置された3本の物干しざおに、ロボットがいかに美しく干すかを競いました。

弓削商船Aチームは協賛のマブチモーター様より特別賞を、弓削商船Bチームはデザイン賞と、協賛の本田技研工業様より特別賞を受賞しました。



役場各課紹介

島の新たな観光スポット創設

商工観光課



「天の花」 弓削久司浦



「みんなのクワラ」 生名 波間田



「海のおとを聴く」 岩城 西部

こんにちは、商工観光課課長の澤田です。商工観光課の事務所はせとうち交流館にあります。

商工観光課では、商工業振興、観光振興等に関する業務を行っています。

今年度の主な事業では、瀬戸内かみじまアートプロジェクトとして島の景観に寄り添ったアート作品を創出する「防波堤アート事業」を実施しています。この事業は、町内3か所(弓削島：久司浦、生名島：波間田、岩城島：西部)の防波堤にアートを施し、新たな観光スポットとして島の周遊促進と長期滞在を促すことを目的としています。デザイン審査には、日本を代表するアートディレクター森本千絵さん他3名の方々に依頼し、全国の若手アーティストから応募のあった47作品の中から3作品を選定。なお、選定にあたってはキャンパスとなる3か所の景観や用途等も考慮しています。制作には、アーティスト本人と弓削高校・弓削商船の生徒並びに地元ボラ

ンティアの皆さんの協力を得て行っておりますので、住民の皆さまも防波堤アートの近くにお越しの際には是非ともお立ち寄りください。ベストは、サイクリングを兼ねて各島を巡っていただきたいと思います。

さて、令和3年度の岩城橋完成にとともに、念願のゆめしま海道全線を自転車のみで行き来できる時代が訪れようとしています。

今、世界から注目を浴びている観光地“瀬戸内の島々”。その中心に位置する上島町は、信号もトンネルも無い安心安全なサイクリングコースと船旅を楽しめる町でもあります。これらの強みを国内外に向け更なる情報発信をしていきたいと考えております。

今後は、自転車を活用した健康増進・交流促進につながる取り組みやインバウンド対応にも力を注いで参りますので、住民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

島おこし協力隊活動報告

妨げず 伸びやかに

こんにちは、島おこし協力隊の西尾です。

今年も寒くて長い冬がやってきました。例年より暖かいとはいえ、寒い日は本当に寒いですね。体調管理にはくれぐれもお気を付けください。

私は寒がりなので、いったん毛布に包まると出れなくなってしまいます。蜜蜂も同じように、巣箱の中で羽を震わせながら温められています。たまに暖かい日が来ると蜜を採しに出ますが、基本的にはじっと春を待っています。

蜜蜂の越冬のポイントは、冬の前に越冬用の食料をしっかりと確保できているかどうかです。なので、遅いタイミングの採蜜や採り

すぎは越冬を妨げることになり、結果として蜂群同士の蜜の盗みあいが発生し、感染症やダニの拡散につながります。また、ダニに寄生された蜂群も崩壊します。

ダニは一般的に、養蜂専用のダニ剤を使用しなければ駆除できません。ですが、私の飼育群はよくダニを振り落として自分で掃除をしています。どうしてでしょうか。実はこれ、ほとんどの養蜂家さんが見たことないとても凄いことなのです。

そんな、蜜蜂本来の生命力を発揮させてやる飼育方法。アニマルウェルフェアを導入した未開の自然養蜂。やり方のひとつで、ぐんと蜂蜜の味が良くなりますよ。



ストレスフリーで体が小さく、黄色くなってきた西洋蜜蜂



島おこし協力隊
西尾 諭